



冬の小国を盛り上げる

白い森スノーフェスティバル

2月22日、道の駅白い森おぐにを会場に白い森スノーフェスティバルが開催されました。昨年好評だった着ぐるみを着て雪上を競走する「ティラノサウルスレース」が今年も開催され、参加者、観客ともに大いに楽しんでいました。

このほか、道の駅での特別メニューの提供や、横根スキー場のカップルデー、白い森未来フェスとしてスノーランタンづくりやヲタ芸パフォーマンスも披露されました。



▲転びながらもゴールを目指す参加者たち



▲幅広い年代の参加者がスノートレッキングを楽しみました

第27回 雪の学校

大自然と伝統文化を楽しむ

3月1日から2日にかけて、白い森交流センターりふれを主会場に雪の学校が開催され、県内外から18人のかたが参加しました。

地元マタギの案内で徳綱山を登るスノーレッキングや小正月の伝統行事であるさいず焼きを模した火まつりなどを体験したほか、郷土料理を味わうなど本町の持つ豊かな自然や雪国の文化に触れました。

また、1日目の夜には開校30周年の記念花火が打ち上げられ、参加者は冬の空に咲き誇った色とりどりの花火に歓声を上げていました。

小国町漁業協同組合主催

小国町漁協わかさぎ釣り大会

小国町漁業協同組合主催の「小国町漁協わかさぎ釣り大会」が3月2日、横川ダム「白い森おぐに湖」で開催され、町民15人が参加しました。当日は天候に恵まれ、テント釣りのほか、露天でワカサギ釣りを楽しむ参加者もいました。

このほか、一般の釣り客も複数訪れていたため、白い森おぐに湖では、色とりどりのテントが雪上に並び、美しい景色を見ることができました。



小中合同ボランティア

福祉施設に手作りのゴミ箱をプレゼント

3月5日、特別養護老人ホームさいわい荘など4つの福祉施設に町内の小中学生が手作りしたゴミ箱が贈呈されました。

これは、小中合同ボランティア活動の一環として実施されたもので、小国中学校生徒会ボランティア担当の川上白亜さん（3年生）は「以前、エコバッグを贈呈した際のアンケートでゴミ箱が欲しいという意見があり、作ってみました。みんなでコツコツと作ったものなので、大切に使ってほしいです」とお話ししてくれました。



第11回マタギの里小玉川雪まつり

雪の中の大冒険

小玉川地区自然教育圏整備促進協議会、小玉川地区青年団イチコロが主催する雪の中の大冒険が3月9日、旧小玉川小中学校グラウンドで開催されました。

当日は家族連れなど約270人が来場し、雪の迷路での宝探しやスノーモービル体験といった冬ならではの遊びを楽しんでいました。また、8日には前夜祭として雪の迷路のライトアップや花火の打ち上げが行われ、訪れたかたの目を楽しませていました。



▲雪の迷路で宝探しをする子どもたち

地域学講座

PPバンドのカゴ編み教室

PPバンド（荷造り用ひも）を用いて基本的なカゴ（はけご）編みの手法について学ぶ教育委員会主催の地域学講座「PPバンドのカゴ編み教室」が3月13日と14日の2日間にわたり、おぐに開発総合センターで開催され、8人が参加しました。

参加者は講師の横山清雄さん（幸町）に編み方を教わりつつ、思い思いの大きさやデザインのはけごを編み上げていました。

